

ライセンスユーティリティ

© 2026 Kepware. All Rights Reserved.

目次

ライセンスユーティリティ	1
目次	2
ライセンスユーティリティ	3
概要	4
ライセンスの表示	5
ライセンスの認証	6
ライセンスのオンライン認証	7
ライセンスのオフライン認証	9
ハードウェアライセンスの認証	10
ライセンスの転送	11
ライセンスのオンライン転送	11
ライセンスのオフライン転送	12
ハードウェアキーライセンスの転送	13
ライセンス転送の制限	14
ライセンスのアップグレード	15
サポートとメンテナンスの更新	15
コマンドラインのライセンス取得	16
ライセンスのトラブルシューティング	19
緊急時のライセンス	19
用語集	21
索引	23



ライセンスユーティリティ

これは、Kepware ライセンスユーティリティのユーザードキュメントです。このドキュメントは、最新の機能と情報を反映して定期的に更新されます。

概要

ライセンスユーティリティとは

ライセンスの表示

購入した全製品のサマリーを確認できるページ

ライセンスの認証

ソフトウェアライセンスを認証できるページ

ライセンスの転送

ライセンスを転送できるページ

ハードウェアライセンス

ハードウェアキー証明書のインポート/エクスポートの可否

緊急時のライセンス

緊急時ライセンス認証 ID とその使用方法

コマンドラインのライセンス取得

コマンドラインからのライセンス取得方法

用語集

ライセンスユーティリティの用語の参照先


その他のリソース



- [テクニカルサポートの知識ベース](#)で、技術的な質問および問題に対する既知の回答を見つけます (ログインが必要)。
- この製品のその他のリリースを含む Kepware 製品のドキュメントについては、[ヘルプセンター](#)を参照してください。
- 開発とトラブルシューティングについてほかのユーザーと意見交換するには、[コミュニティフォーラム](#)で質問や解決策を投稿してください。

フィードバック

ドキュメントに関するフィードバックをお寄せください。

- ヘルプセンターに関するコメントやご提案がございましたら、documentation@ptc.com まで電子メールをお送りください。
- ページに関するフィードバックを送信するには、そのページの右上隅にある  をクリックします。

バージョン 1.082

© 2026 Kepware. All Rights Reserved.

概要

ライセンスユーティリティは、ソフトウェアライセンスとハードウェアキー証明書を管理するためにホストマシン上で使用されるツールです。製品に関連付けられたサブスクリプション期間の表示にも使用されます。

ライセンスユーティリティにアクセスするには、次のいずれかの操作を実行します。

構成を実行し、「ツール」|「**License Utility を起動**」の順に選択します。

- または -

「スタート」|「すべてのプログラム」| <企業名> | <製品名> | 「ライセンス」| 「ライセンスユーティリティ」の順にクリックします。

● ライセンスユーティリティの用語については、[用語集](#)を参照してください。

ライセンスの表示

「ライセンスの表示」ページには、ホストマシンで使用できる権限とライセンス供与された全製品のサマリーが表示されず。これには、個々のソフトウェアライセンスとハードウェアライセンスが含まれます。

Product	Activation ID	Support End Date	Status
Wago ethernet	0675f388-b744-4aad-b0f6cd884cb	11/2027	Good
Sattbus_Suite.lic	5f388-b744-4aad-b0f6cd884cb-05	10/2027	Certificate
iSNMP Suite.lic	744-4aad-b0f6cd884cb5e56-05a9	10/2026	Certificate
Ping	45a72e56-05a9-4ff8-b0c97b9ef54	11/2027	Invalid for current ver
Advanced Tags Plug-in	f62e-1edd-44ba-b6aa-734227c0	10/2026	Good
Allen-Bradley Suite.lic	88-b744-4aad-b0f6cd884cb-05a94f	10/2027	Certificate

Additional License Information:

Type: Software

Description: Advanced Tags Plug-in

Tier: Advanced Tag Type: Link, Complex, Derived, Cumulative, Average, Maximum, Minimum

Perform licensing operations online when possible (requires Internet access on this computer)

Buttons: Print, Activate, Renew, Close, Help, Transfer, Repair

「製品」: この列には、特定のソフトウェアライセンスまたはハードウェアライセンスによって認証された機能が表示されます。

「ライセンス認証 ID」: この列には、ベンダーによって生成された一意のライセンス識別文字列であるライセンス認証 ID が表示されます。この ID は、ライセンス認証プロセスで使用される要求ファイルを生成するために、ライセンスユーティリティに入力されます。

● ヒント: ライセンス認証 ID をコピーするには、行を選択し、右クリックして「ライセンス認証 ID をコピー」を選択します。

「サポート終了日」: この列には、その製品ライセンスのサポートが終了する日付が表示されます。

「ステータス」: この列には現在のライセンスの状態が表示されます。以下にステータスの例を挙げます。

- 「証明書」 - 証明書ベースのライセンス (例: ハードウェアキー)
- 「良好」 - 完全に信頼できる有効なソフトウェアライセンス
- 「破損: <理由>」 - 「アンカー」、「バインド」、「クロック」などの考えられる理由による、信頼できないか無効なソフトウェアライセンス。
- 「現在のバージョンに対して無効」 - このライセンスはソフトウェアの現在のバージョンに対して有効ではなく、アップグレードする必要があります ([アップグレード](#)を参照)。
- 「期限切れ」 - 時刻ベースのライセンスが期限切れになっています。
 - 破損したライセンスの考えられる理由については、[トラブルシューティング](#)を参照してください。

その他のライセンス情報

その他のライセンス情報がある場合、このセクションに表示されます。以下でこれについて説明します。

- 「タイプ」: このフィールドには、特定の製品のライセンスタイプが表示されます。
- 「説明」: ハードウェアキーライセンスの場合、このフィールドにファイル名 <製品>.lic が表示されます。ソフトウェアライセンスの場合、このフィールドには製品スイート名または製品名が表示されます。

- 「**階層**」: 一部のライセンスではチャンネル、デバイス、タグタイプ、タグが一定の数の制限されています。このフィールドには、選択したライセンスでの制限 (あれば) が示されます。
 - **ヒント**: たとえば、階層情報には、有効な Advanced Tags のタイプが含まれます。
- 「**有効期限**」: 製品ライセンスに期限がある場合 (緊急時ライセンス認証 ID など)、このフィールドにはライセンス期限が切れる日が表示されます。ホストマシンに期限付きライセンスがない場合、このフィールドは表示されません。

「**修復**」: 選択したアイテムのステータスが「破損」になっている場合に使用できます。クリックすると[ライセンス認証プロセス](#)が表示され、ライセンス認証 ID フィールドに選択したアイテムのライセンス認証 ID が自動入力されているので、プロセスを進めやすくなります。

「**ライセンス認証**」: クリックするとライセンス認証プロセスが開始します。

「**更新**」: クリックするとライセンス更新プロセスが開始します。

「**転送**」: クリックすると、あるシステムから別のシステムにライセンスを移動するプロセスが開始します。選択したライセンス認証 ID を別のホストマシンに (ただちにまたは後から) 転送してライセンス認証できます。

● **ヒント**: 複数のソフトウェアライセンス認証 ID を一度に転送できます。ハードウェアキー証明書は一度に 1 つだけエクスポートまたはコピーできます。

「**可能な場合はライセンス操作をオンラインで実行**」: ライセンスユーティリティがライセンスサーバーに直接アクセスしてライセンス認証と転送を実行することを許可します。これにより、My Kepware でライセンス要求/応答ファイルを作成してアップロード/ダウンロードする必要がなくなります。

● **注記**: オンライン機能には Windows Server 2012 以降が必要です。最新のセキュリティアップデートがインストールされている必要があります。

● **ヒント**: 製品スイートを表示しているときにダブルクリックすると、含まれている製品が表示されます。

● **注記**:

- ソフトウェアライセンス認証 ID を選択して「**次へ**」をクリックすると、ソフトウェアライセンス認証プロセスが開始します。詳細については、[ソフトウェアライセンス認証の管理](#)を参照してください。
- 製品ライセンス認証の「**転送**」を選択して「**次へ**」をクリックすると、転送プロセスが開始します。詳細については、[ソフトウェアライセンス転送の管理](#)を参照してください。
- 「**可能な場合はライセンス操作をオンラインで実行**」は、ライセンスユーティリティがライセンスサーバーに直接アクセスしてライセンス認証と転送を実行することを許可します。これにより、My Kepware でライセンス要求/応答ファイルを作成してアップロード/ダウンロードする必要がなくなります。

● **関連項目**: [用語集](#)、[ソフトウェアライセンスの認証](#)、[ソフトウェアライセンスの転送](#)、[ハードウェアライセンスの転送](#)、[ライセンスの認証](#)、[ハードウェアライセンス証明書の認証](#)

ライセンスの認証

ライセンスを認証するためには、1 つ以上のライセンス認証 ID またはハードウェアキーファイルが必要です。どちらもライセンス Web サイトからダウンロードできます。

ソフトウェアまたはハードウェアのオプションを選択し、「**次へ**」をクリックします。

How would you like to activate?

I have one or more software activation IDs

I have a hardware key license file

[ソフトウェアライセンスの認証 - オンライン](#)

[ソフトウェアライセンスの認証 - オフライン](#)

[ハードウェアライセンスの認証](#)

● **関連項目:** [用語集](#)、[ソフトウェアライセンスの転送](#)、[ハードウェアライセンスの転送](#)、[ハードウェアライセンス証明書の認証](#)

ライセンスのオンライン認証

ライセンスのオンライン認証ページでは、ライセンス供与の対象となる製品に対応する1つ以上のライセンス認証IDを入力できます。「次へ」ボタンを押すと、ライセンスユーティリティがライセンスサーバーと通信してライセンス認証を実行します。

● ライセンス認証を処理するには、インターネット接続が必要です。ライセンス認証された製品を実行するコンピュータ(ターゲット)からインターネットにアクセスできない場合は、[オフライン認証](#)のプロセスを参照してください。

Enter the 36-character Activation ID(s) obtained from the vendor, each on its own line:

Caution: Multiple licenses of the same product cannot be activated on one machine. Attempting to do so will result in the loss of the license.

Installation Location Details

Machine name or identifier of the server:

Location of the server (optional):

Description of the server (optional):

Activate Using the Internet

Enter the My Kepware user name and password for the authorized end user.

User Name:

Password:

[Create account](#)

Home < Back Next > Close Help

● **警告:** 同じ製品またはドライバーの2つ以上のライセンスを同じマシンでライセンス認証することはできません。追加の製品ライセンスまたは別の製品ライセンスを認証することはできますが、既存の製品の新規ライセンスは既存のライセンス

を上書きします。

インストール先の詳細

「マシン名またはサーバー識別子」: ライセンスを認証するマシンの識別子を入力します。このフィールドにはデフォルトで現在のマシン名が設定されています。

「サーバーの場所」(オプション): ライセンス認証されたマシンが実行される場所の説明をオプションで入力します。

「サーバーの説明」(オプション): ライセンスが認証されるマシンの説明をオプションで入力します(最大 1000 文字)。

インターネットを使用した認証 インターネット

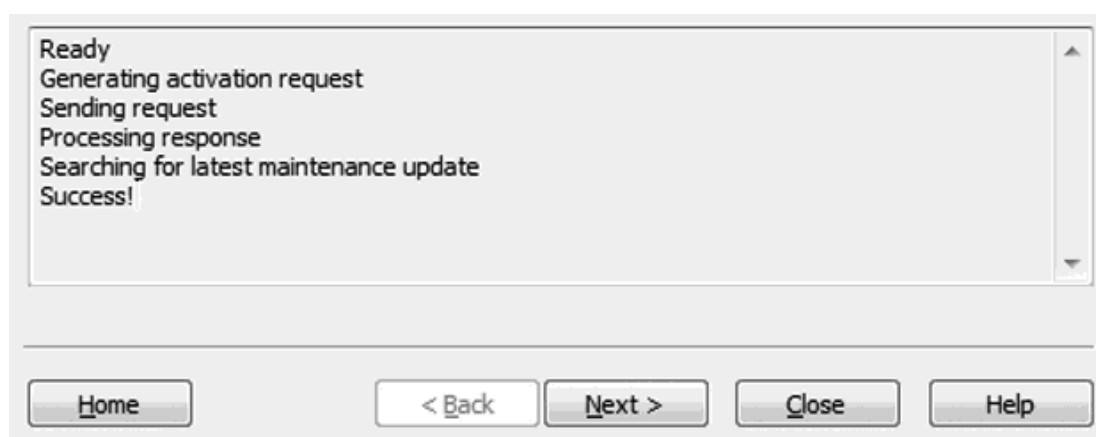
「ユーザー名」: ライセンスの取得と保持に使用する My Kepware アカウントのユーザー名。

「パスワード」: ライセンスサーバーで指定したユーザー名を認証するために使用する My Kepware アカウントのパスワード。

ライセンス認証の手順

1. 所定の領域にライセンス認証 ID を入力するか貼り付けます。ID は直接入力するか、またはコンマ区切りフォーマットで貼り付けることが可能です。
● **ヒント**: 1 回のトランザクションで最大 100 個のライセンスを認証できます。
2. 必要に応じて「インストール先の詳細」を入力または更新します。
3. アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。
4. 「次へ」をクリックします。ライセンス認証要求のステータスを示すステータス画面が表示され、エラーまたは警告が発生した場合は一緒に表示されます。
5. ライセンス認証が完了した後、「次へ」をクリックして「ライセンスの表示」ダイアログに戻ります。

● サーバーが 30 秒間応答しない場合、オンラインのライセンス認証要求はタイムアウトになります。



● **関連項目**: [用語集](#)、[トラブルシューティング](#)、[ソフトウェアライセンスの認証](#)、[ソフトウェアライセンスの転送](#)、[ハードウェアライセンスの転送](#)、[ハードウェアライセンス証明書の認証](#)

ライセンスのオフライン認証

このページはライセンス認証プロセスの手順を確認するために使用します。ライセンス認証プロセスは、ソフトウェアライセンス認証 ID を使用して要求ファイル ("activation_request.txt") を生成し、ベンダーへのリクエスト送信をユーザーに指示します。また後で、ベンダーによって生成されたライセンス認証応答ファイル ("response.txt") を処理します。

ヒント: ライセンス認証の要求ファイルと応答ファイルの名前はそれぞれデフォルトで "activation_request.txt" と "response.txt" になっていますが、必要に応じて変更できます。

Enter the 36-character Activation ID(s) obtained from the vendor, each on its own line:

Caution: Multiple licenses of the same product cannot be activated on one machine. Attempting to do so will result in the loss of the license.

Installation Location Details

Machine name or identifier of the server: SERVER01

Location of the server (optional):

Description of the server (optional):

Upload Request and Generate Response

Save to File ...

This file must be sent to the vendor's licensing website in order to receive a response file to activate the product.

[Click to view vendor's support information.](#)

Import the Activation Response File

Import File ...

Click "Import File ..." to import the Activation Response File. This response file is obtained from the vendor's licensing website in order to activate the product on this machine.

Home < Back Next > Close Help

警告: 同じ製品またはドライバーの 2 つ以上のライセンスを同じマシンでライセンス認証することはできません。追加の製品ライセンスまたは別の製品ライセンスを認証することはできますが、既存の製品の新しいライセンスは既存のライセンスを上書きします。

インストール先の詳細

これらの値は My Kepware に表示され、複数のサーバーにまたがるライセンス認証をトラッキングするために役立ちます。

「マシン名またはサーバー識別子」: ライセンスを認証するマシンの識別子を入力します。このフィールドにはデフォルトで現在のマシン名が設定されています。

「サーバーの場所」(オプション): ライセンス認証されたマシンが実行される場所の説明をオプションで入力します。

「サーバーの説明」(オプション): ライセンスが認証されるマシンの説明をオプションで入力します (最大 1000 文字)。

ライセンス認証の手順

1. 所定の領域にライセンス認証 ID を最大 100 個まで入力します。ID は直接入力するか、またはコンマ区切りフォーマットで貼り付けることが可能です。1 回のトランザクションで最大 100 個のライセンスを認証できます。

2. 必要に応じて「インストール先の詳細」を入力または更新します。
3. 「ファイルに保存」をクリックします。
 - **注記:** ライセンスユーティリティによって "activation_request.txt" という名前の要求ファイルが生成され、ブラウザダイアログが表示されます。要求ファイルを保存し、その場所を書き留めておきます。
4. インターネットブラウザを起動し、ベンダーのライセンス Web サイトへ移動します。2 回目以降のユーザーはログイン情報の入力を求められ、初めてのユーザーは続行するためにアカウントの作成を求められます。
5. 要求ファイルをアップロードし、「OK」をクリックします。
6. "Response.txt" という名前のライセンス認証応答ファイルが提供されます。このファイルをホストマシンに保存します。
7. ライセンスユーティリティの「ソフトウェアライセンス認証の管理」ダイアログに戻ります。
8. 「ライセンス認証応答ファイルをインポート」で「ファイルをインポート」をクリックし、ダウンロードしたライセンス認証応答ファイルを選択します。

● **関連項目:** [用語集](#)、[トラブルシューティング](#)、[ソフトウェアライセンスの認証](#)、[ソフトウェアライセンスの転送](#)、[ハードウェアライセンスの転送](#)、[ハードウェアライセンス証明書の認証](#)

ハードウェアライセンスの認証

ハードウェアキー証明書はベンダーによって生成されるデジタル署名付きファイルで、一意のハードウェアキー ID (Flex ID) と認証済み製品のリストを含みます。

1 つのハードウェアキー証明書を複数のホストマシンにインポートできますが、ハードウェアキー証明書に関連付けられた物理ハードウェアキーは一度に 1 つのマシンにしか接続できません。物理ハードウェアキーは、ハードウェアキー証明書を使用するために必要です。

● ハードウェアキーを正しく機能させるためには、追加のソフトウェア機能をインストールする必要があります。インストールは初期設定時に実行できますが、製品のインストール実行ファイルを再実行して「修正」を選ぶことで、いつでも実行できます。「機能の選択」でハードウェアキーを見つけ、ローカルハードドライブ上に機能全体をインストールするオプションを選択します。インストールが完了するまで続行します。



ハードウェアキー証明書ファイルの登録

アプリケーションのランタイムが物理ハードウェアキーを認識できるようにするために、ライセンスユーティリティにハードウェアキー証明書ファイルを登録する必要があります。

ハードウェアキー証明書を登録するには、以下の手順に従ってライセンスユーティリティにファイルをインポートします。

1. ハードウェアキーと対応するハードウェアキー証明書ファイルをベンダーから取得した後で、「ハードウェアキー証明書をインポート」の下の「**ファイルをインポート...**」をクリックします。
2. 提供されたハードウェアキー証明書ファイルをブラウズし、「**OK**」をクリックします。ファイルには "MyHrdKeyCert.lic" などの一意の名前が付けられています。次に、証明書がライセンスユーティリティによって処理されます。処理が成功した場合、新しくインポートしたライセンスを示した「**表示ページ**」が表示されます。

● **関連項目:** [用語集](#)、[ソフトウェアライセンスの認証](#)、[ソフトウェアライセンスの転送](#)、[ハードウェアライセンスの転送](#)

ライセンスの転送

このページはオンライン転送プロセスの手順を確認するために使用します。オンライン転送プロセスでは、ユーザーがベンダーのライセンス Web サイトに認証を保存しておき、新しいホストマシンでこれを利用できます。ベンダーのライセンス Web サイトへのライセンスのアップロードが正常に終了した後、ユーザーは新しいホストマシンでライセンス認証プロセスを開始できます。

ライセンスの転送を開始するには、[表示](#)画面で 1 つ以上のソフトウェアライセンスを選択し、「**転送**」ボタンをクリックします。

[オンライン転送](#)

[オフライン転送](#)

[ハードウェアライセンスの転送](#)

● **注記:** ソフトウェアライセンスとハードウェアライセンスを同時に転送することはできません。

ライセンスのオンライン転送

The following activations have been selected to be returned:

Product	Activation ID	Subscription End Date
Wago ethernet	0675f388-b744-4aad-bd19-f...	11/2027

Transfer Using the Internet

Enter a My Kepware user name and password for this account.

User Name:

Password:

[Create account](#)

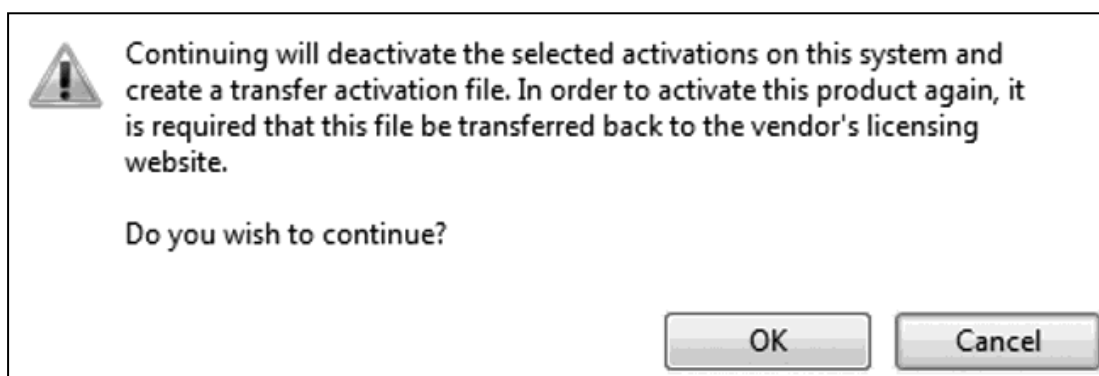
フィールドの説明

- ・ **ライセンスリスト** - このリストには、表示画面で転送用に選択されたすべてのライセンスが含まれます。
- ・ **「ユーザー名」** - ライセンスの取得に使用した My Kepware のユーザー名。
- ・ **「パスワード」** - ライセンスサーバーの認証に使用した My Kepware のパスワード。

オンライン転送プロセス

1. 「ユーザー名」および「パスワード」フィールドにユーザーの資格証明を入力します。
2. 「次へ」ボタンをクリックして、転送プロセスを開始します。転送要求のステータスを示すステータス画面が表示され、エラーまたは警告が発生した場合は一緒に表示されます。

● **注記:**「次へ」をクリックすると必ず以下の警告が表示されます。

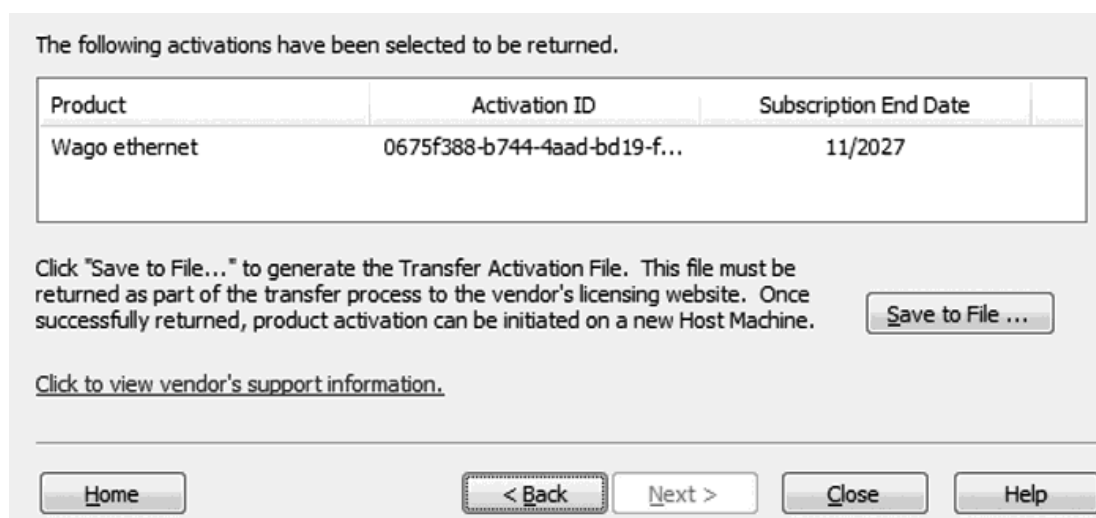


3. 認証が完了した後、「次へ」をクリックして「ライセンスの表示」ダイアログに戻ります。

● **関連項目:** [ソフトウェアライセンス認証の管理](#)、[ライセンス転送の制限](#)

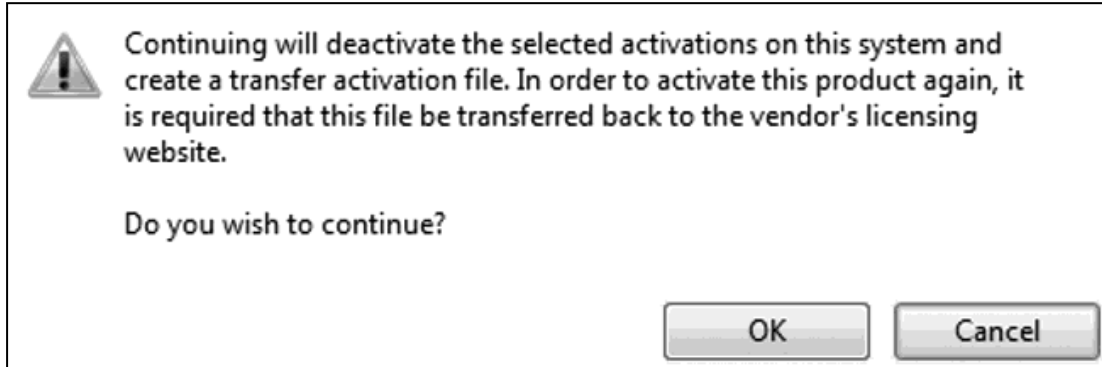
ライセンスのオフライン転送

製品のライセンス認証は、ライセンスユーティリティによって生成された転送要求ファイル("transfer_request.txt")を介してベンダーに返却されます。ベンダーのライセンス Web サイトへのアップロードが正常に終了した後、ユーザーは新しいホストマシンでライセンス認証プロセスを開始できます。



1. 「**ファイルに保存**」をクリックして、マシン上のライセンスの認証を無効化します。こうすることで、このライセンス権はインストール済みソフトウェアに適用されなくなります。生成された転送要求ファイルが Web ベースのベンダーライセンスポータルで処理されない場合、このライセンスは使用できません。

● **注記:** 「**ファイルに保存**」をクリックすると常に以下の警告が表示されます。



● **注記:** 転送を続行するとホストマシン上のライセンス認証は無効になりますが、ベンダーのライセンス Web サイトにライセンスを返却した後、新しいホストマシンでライセンスを認証できます。

2. ファイルブラウザダイアログで、生成された要求ファイル "transfer_request.txt" を保存します。保存先を書き留めます。
3. 要求ファイルをアップロードするには、インターネットブラウザを起動し、ベンダーのライセンス Web サイトに移動します。2 回目以降のユーザーはログイン情報の入力を求められ、初めてのユーザーは続行するためにアカウントの作成を求められます。
 - **重要:** 転送要求ファイルは、元のホストマシンのライセンスユーティリティで生成する必要があります。ライセンス転送プロセスを完了するには、インターネット接続が必要です。有効なライセンスの転送元ホストマシンからインターネットにアクセスできない場合、インターネットにアクセスできるコンピュータに転送要求ファイルをコピーして、Web ベースのライセンスポータルにログインし、転送要求ファイルをアップロードします。
4. 転送要求ファイルをアップロードし、「**OK**」をクリックします。
 - **注記:** ライセンスはオンラインアカウント内に保管されます。

● **関連項目:** [ソフトウェアライセンス認証の管理](#)、[ライセンス転送の制限](#)

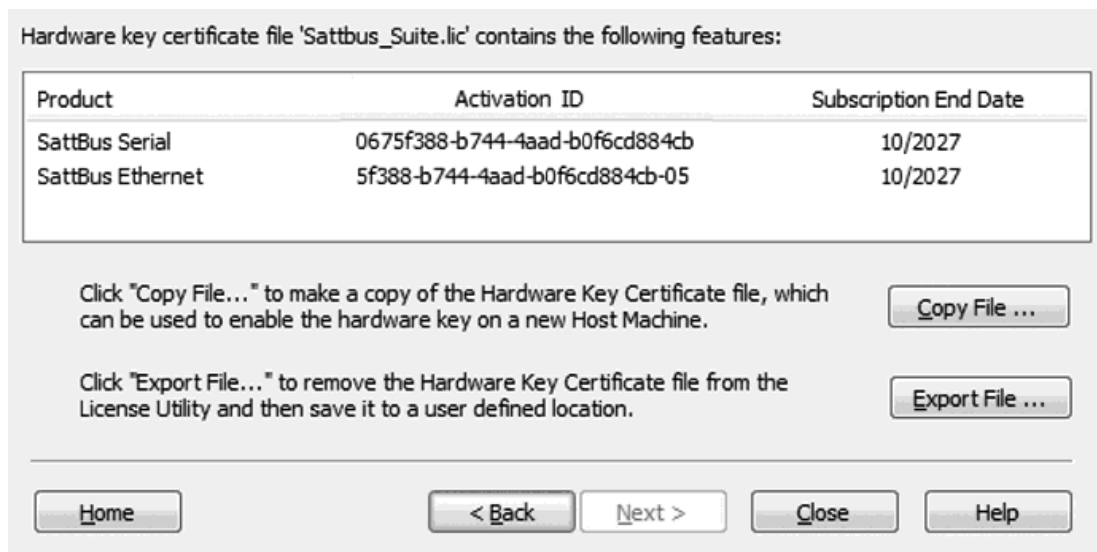
ハードウェアキーライセンスの転送

このページは、ハードウェアキー証明書をコピーおよびエクスポートするために使用します。ハードウェアキー証明書はベンダーによって生成されるデジタル署名付きファイルで、一意のハードウェアキーのライセンス認証 ID と認証済み製品のリストを含みます。

1 つのハードウェアキー証明書を複数のホストマシンにインポートできますが、ハードウェアキー証明書に関連付けられた物理ハードウェアキーは一度に 1 つのマシンにしか接続できません。物理ハードウェアキーは、ハードウェアキー証明書を使用するために必要です。

● **ヒント:** 証明書をコピーすると、現在のマシンに元の証明書がそのまま残ります。証明書をエクスポートすると、証明書がマシンから削除されます。

● **重要:** ハードウェアキーを正しく機能させるためには、追加のソフトウェア機能をインストールする必要があります。インストールは初期設定時に実行できますが、製品のインストール実行ファイルを再実行して「**修正**」を選ぶことで、いつでも実行できます。「機能の選択」でハードウェアキーを見つけ、ローカルハードドライブ上に機能全体をインストールするオプションを選択します。インストールが完了するまで続行します。



別のホストマシンへのハードウェアキー証明書ファイルのコピー

別のマシンでハードウェアキーを使用する前に、この新しいホストにハードウェアキー証明書ファイルのコピーをインポートする必要があります。すでにコピーを取得している場合、[ハードウェアライセンスの認証](#)のステップに従ってください。ライセンスがすでにインポートされているが、コピーにアクセスできない場合、以下の手順に従ってライセンスユーティリティからコピーを取得します。

● **注記:** ハードウェアキーをマシン間で移動するために、ハードウェアキー証明書をベンダーに返却する必要はありません。

「**ファイルをコピー**」をクリックし、ハードウェアキー証明書ファイルの保存先を選択します。

● **ヒント:** アクセス可能で安全な場所にこのファイルをバックアップすることをお勧めします。

ハードウェアキー証明書が別のホストマシンにインポートされます。

ハードウェアキー証明書ファイルのエクスポート

別のハードウェアキーを使用する予定がある場合、混同を避けるために既存のハードウェアキー証明書を削除します。このためには、「ハードウェアキー証明書の管理」ダイアログで「**ファイルをエクスポート**」を選択します。

● **注意:** ハードウェアライセンスを使用する場合、製品に関連付けられるサポート期間はハードウェアキー証明書に依存します。

● **関連項目:** [用語集](#)、[ソフトウェアライセンスの認証](#)、[ソフトウェアライセンスの転送](#)、[ハードウェアライセンス証明書](#)の認証

ライセンス転送の制限

サポート期間は購入と同時に開始されます。各製品のライセンス機能が個別に関連製品をサポートします。1つのライセンスの有効期限が切れた場合、そのライセンスに関連する機能だけが期限付きモードで実行されます。ライセンスされたその他の製品は影響を受けません。

● **関連項目:** [用語集](#)

ライセンスのアップグレード

バージョン 6.0 のリリース前に取得されたライセンスは、ライセンスバージョン 6.0 の製品には使用できないため、アップグレードが必要です。

ソフトウェアライセンス

1. [ライセンスの表示](#)ダイアログで、アップグレードするライセンスを選択します。
2. 「転送」ボタンをクリックします。
3. [ソフトウェアライセンスの転送プロセス](#)に従います。
4. ライセンス Web サイトにログインし、表示される指示に従ってライセンスをアップグレードします。ライセンスごとに新しいライセンス認証 ID が生成され、提供されます。
5. [ソフトウェアライセンス](#)の認証を実行します。

ハードウェア証明書

1. [ライセンスの表示](#)ダイアログで、アップグレードするライセンスを選択します。「転送」ボタンをクリックします。
2. [ハードウェアライセンスの転送プロセス](#)に従います。
3. ライセンス Web サイトにログインし、表示される指示に従ってハードウェアライセンスをアップグレードします。
4. 新しいハードウェアライセンス証明書をダウンロードします。
5. [ハードウェアライセンス証明書の認証](#)を実行します。

● **注記:** バージョン 6.0 のライセンスが仮想マシンを実行するシステムにインストールされており、後からシステムが 6.0 より前の製品に戻された場合、6.0 より前のライセンスユーティリティを使用してバージョン 6.0 のライセンスを転送することはできません。

● **関連項目:** [用語集](#)、[ソフトウェアライセンスの認証](#)、[ソフトウェアライセンスの転送](#)、[ハードウェアライセンスの転送](#)、[ハードウェアライセンス証明書の認証](#)

サポートとメンテナンスの更新

サポートのオンライン更新

このページはライセンスサポートとメンテナンスを更新するために使用します。ライセンスユーティリティはライセンスサーバーにアクセスして、マシン上にあるライセンスのサポートが更新されているかどうかを確認します。サポートの更新が見つかった場合、更新は自動的にロードされ、影響のあるライセンスのバージョンが更新されます。

● **注記:**

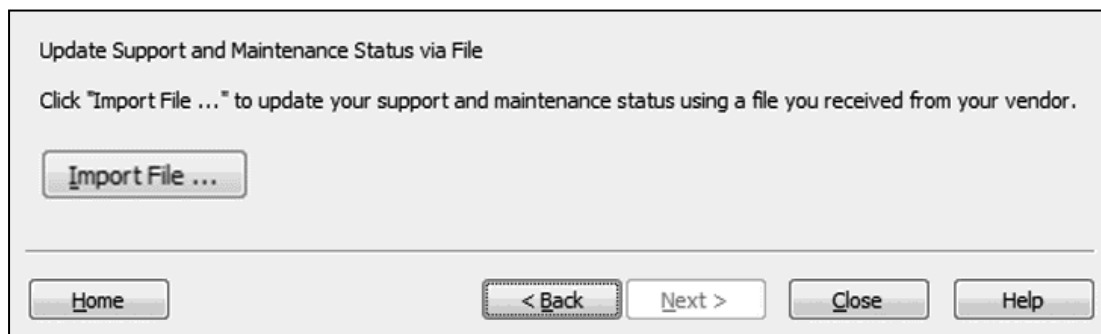
1. ソフトウェアライセンスのオンライン認証中に、サポートとメンテナンスのチェックが自動的に実行されます。追加のサポートを購入するまで、以降の更新は必要ありません。
2. サポートとメンテナンスの更新が適用されるのはソフトウェアライセンスのみです。ハードウェア証明書ファイルは新しいファイルの配布によって更新されます。



1. 資格証明として、このアカウントに関連付けられた My Kepware の「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。
2. 「更新」ボタンをクリックします。更新要求のステータスを示すステータス画面が表示され、エラーまたは警告が発生した場合は一緒に表示されます。
3. 更新が完了した後、「次へ」をクリックして[ライセンスの表示](#)ダイアログに戻ります。

サポートのオフライン更新

このページはライセンスサポートとメンテナンスを更新およびインポートするために使用します。サポートを更新すると、製品サポートの延長を反映するために、関連付けられた製品ライセンス ([表示画面](#)に一覧を表示) のバージョンが更新されます。



1. 「インポート」ボタンをクリックし、ベンダーから提供されたファイルを選択します。インポートプロセスの完了後、[ライセンスの表示](#)ダイアログに戻ります。

● [関連項目](#): [用語集](#)、[ソフトウェアライセンスの認証](#)、[ソフトウェアライセンスの転送](#)、[ハードウェアライセンスの転送](#)、[ハードウェアライセンス証明書の認証](#)

コマンドラインのライセンス取得

ライセンスユーティリティは、クライアント側とサーバー側の両方で、信頼されたストレージにアクセスするために使用されます。

一般的な使用方法

サイレント実行

```
activationclient.exe -silent [-log <ログファイル>]
```

サーバーの信頼されたストレージ

```
activationclient.exe -server <オプション>
```

クライアントの信頼されたストレージ (デフォルト)

```
activationclient.exe -client <オプション>
```

デジタル署名レポート

```
activationclient.exe -digi <再帰ディレクトリまたは単一ファイル>
```

仮想マシン (VM) の検出

```
activationclient.exe -vm
```

ライセンス数のクエリー

```
activationclient.exe -count [製品 ID] (-silent -log [ファイル])
```

例:

```
activationclient.exe -count 012 -silent -log .v.txt
```

レガシー (V5) ライセンス数のクエリー

```
activationclient.exe -v5count [製品 ID] (-silent -log [ファイル])
```

例:

```
activationclient.exe -v5count 012 -silent -log .v.txt
```

タイムスタンプ vs ライセンスバージョンの検証

```
activationclient.exe -superseded [製品 ID] [バージョンの日付] -silent -log [ファイル]
```

例:

```
activationclient.exe -superseded 012 2009.08 -silent -log.v.txt
```

リターンコード:

- 2 クエリーに失敗しました
- 1 ライセンスが存在しません
- 0 バージョンの日付と等しい
- 1 古い(有効)
- 2 新しい(ライセンスに違反)

信頼されたストレージのレコードを表示

```
activationclient.exe -view [-valid -broken] [-long]
```

ASRのライセンス認証

```
activationclient.exe -local [<入力ファイル名>]
```

信頼されたストレージのライセンス認証要求の作成

```
activationclient.exe -served [-comm <flex|soap>] [-username <ユーザー名>] [-password <パスワード>] [-proxyDetails "<ホスト> <ポート> [<ユーザー ID> [<パスワード>]"] [-entitlementID <資格 ID>] [-productID <製品 ID>] [-expiration <有効期限>] [-</MadCap:helpControlItem>activatable <数>] [-activatable0 <数>] [-concurrent <数>] [-concurrent0 <数>] [-hybrid <数>] [-hybrid0 <数>] [-repairs <数>] [-gen [<出力ファイル名>]] [-vendordata <キー> <値>] [-v6]
```

● ヒント: v6 はバージョン 6.x であり、必要に応じて現在インストールされているバージョンにアップデートする必要があります。

返却要求

```
activationclient.exe -return <フルフィルメント ID> [-comm <flex|soap>] [-username <ユーザー名>] [-password <パスワード>] [-proxyDetails "<ホスト> <ポート> [<ユーザー ID> [<パスワード>]"] [-gen [<出力ファイル名>]] [-vendordata <キー> <値>] [-v6]
```

応答の処理

```
activationclient.exe -process <入力ファイル> [-v6]
```

● **ヒント:** v6 はバージョン 6.x であり、必要に応じて現在インストールされているバージョンにアップデートする必要があります。

修復要求

```
activationclient.exe -repair <フルフィルメント ID> [-comm <flex|soap>] [-commServer <comm  
サーバー>] [-proxyDetails "<ホスト> <ポート> [<user ユーザー ID>] [<パスワード>"] [-gen [<出  
力ファイル名>]] [-vendordata <キー> <値>]
```

要求の削除

```
activationclient.exe -delete <フルフィルメント ID>
```

エスケープ XML の作成

```
activationclient.exe -escapexml <xml>
```

未加工の XML の作成

```
activationclient.exe -unescapexml <xml>
```

ベンダーデータ文字列の作成

```
activationclient.exe -makevendordata <param0>=<value0> <param1>=<value1> ...  
<paramN>=<valueN>
```

例:

```
activationclient.exe -makevendordata ChannelCount=10 DeviceCount=5 TagCount=100
```

例

初期化要求の生成 (サーバー側 TS)

```
activationclient.exe -served -server -entitlementID 1197-ca05-129c-9234-2e37-fff -  
productID simulator -expiration permanent -concurrent 1 -repairs 1 -gen  
c:\temp\out.xml
```

初期化要求の生成 (クライアント側 TS)

```
activationclient.exe -served -entitlementID 1197-ca05-119c-9284-2e37-fff -productID  
simulator -expiration permanent -repairs 1 -gen c:\temp\out.xml
```

初期化応答の処理

```
activationclient.exe -process="c:\temp\rresponseXML.xml"
```

信頼されたストレージのコンテンツの表示

```
activationclient.exe -view
```

オンラインでの返却要求

```
activationclient.exe -return -server -v6 -entitlementID FID__54b470c2_1547e88c49e__  
7ea6 -username marcopolo@kepware.com.int -password blahblahblah
```

オンラインでのライセンス認証要求

```
activationclient.exe -served -server -v6 -entitlementID 27c931fe-d96a-4874-8d1b-  
b533219a2a51 -username marcopolo@kepware.com.int -password blahblahblah -gen  
c:\temp\out.txt
```

中止するには、任意のキーを押します。

● **関連項目:** [用語集](#)、[ソフトウェアライセンスの認証](#)、[ソフトウェアライセンスの転送](#)、[ハードウェアライセンスの転送](#)、[ハードウェアライセンス証明書の認証](#)

ライセンスのトラブルシューティング

ソフトウェアとライセンスの機能は信頼関係に基づいています。特定の環境変更によって信頼関係が維持できなくなり、ライセンスが無効になる場合があります。[ライセンスの表示](#)ダイアログで「ステータス」列に「破損」が表示される場合、考えられる理由が一緒に示されます。以下に、理由の種類ごとに考えられる原因と解決策を示します。

● **注記:** 新しいライセンスを認証するか、既存のライセンスを転送する前に、「破損」ステータスになっているすべてのライセンスを修復する必要があります。

時計の巻き戻し

考えられる原因:

- 時刻ベースのライセンス利用を延長する目的で、システム時間が巻き戻されました。

解決策:

- システム時間を修正します。
- 最初の認証時に時間が間違っていた場合、[「ライセンスの再認証」](#)を実行します。

バインド

考えられる原因:

- 別のコンピュータにライセンスが移動されました。
- 大幅なハードウェア変更が検出されたため、ライセンスが有効ではなくなりました。
- 仮想マシンが特定のスナップショットに戻されました。

解決策:

- 連絡先 ライセンスを再認証する前にテクニカルサポートに連絡します。
- [緊急時 ID](#) を使用してライセンスを再認証し、7 日間以内にテクニカルサポートに連絡します。

アンカー

考えられる原因:

- ライセンスが現在のコンピュータから転送された後に手動で復元されています。
- サードパーティソフトウェアによって、ライセンスの信頼関係を維持するためのデータが上書きされました。

解決策:

- [ライセンスの再認証](#)を実行します。

● **関連項目:** [ライセンスの認証](#)、[ライセンスの転送](#)、[緊急時ライセンス](#)、[ライセンスの表示](#)

緊急時のライセンス

緊急時ライセンス認証 ID は、標準営業時間外にマシン/システムエラーが発生した場合に使用するため、購入したソフトウェアライセンス認証 ID ごとに 1 つ提供されます。緊急時ライセンスは、ターゲットマシンからライセンス Web サイト経由で認証でき、製品を 7 日間実行できます。緊急時ライセンス認証 ID は 1 回だけ使用できる固有のライセンスであり、緊急のライセンス認証を必要とする製品ごとに個別の緊急時ライセンス認証 ID を使用する必要があります。緊急時ライセンスを使用した後、ユーザーはテクニカルサポートに連絡して、アプリケーションの回復方法を検討する必要があります。

● **注記:** 緊急時ライセンスを使用するコンピュータがインターネットにアクセスできない場合、インターネットにアクセスできるコンピュータに認証要求ファイルをコピーして、認証応答ファイルを生成します。ライセンス認証要求ファイルとライセンス認証応答ファイルの両方をターゲットマシンで処理する必要があります。ライセンス認証の詳細については、[ソフトウェアライセンス認証の管理](#)を参照してください。

● **重要:** マシン/システムエラーなどの状況が発生する前に、すべての関係者と回復手順を話し合うことが重要です。現在のライセンス認証 ID のコピーをすべて保存しておく、円滑な回復につながります。また、アプリケーションの正しいインストールバージョンを記録しておく役に立ちます。

用語集

以下の表に、ライセンスユーティリティで使用されている各種用語の定義を示します。

用語	定義
ライセンス認証 ID	ベンダーによって割り当てられた一意の ID で、要求ファイルを生成するためにライセンスユーティリティによって使用されます。ライセンス認証 ID には、ソフトウェアライセンス認証 ID (永続) と緊急時ライセンス認証 ID (1 回限りの 7 日間ライセンス) の 2 つのタイプがあります。
ライセンス認証プロセス	<p>製品ライセンスは、ホストマシンでのフルタイムの実運用を開始する前に認証する必要があります。ホストマシンにインターネット接続は必要ありません。ただし、ソフトウェアライセンスのライセンス認証プロセスでは、ユーザーが Web ベースのベンダーライセンスポータルにログインして認証応答ファイルを生成する必要があります。</p> <p>● 注記: この時点では、個人による電話のみでのライセンス認証はできません (ライセンスメカニズムがファイルに基づいているため)。</p> <p>インターネットに接続できないリモートサイトにあるホストマシンには、ハードウェアライセンスの使用をお勧めします。ハードウェアキーと証明書を認証または新しいホストマシンに転送するために、Web ベースのベンダーライセンスポータルを使用する必要はありません。</p>
限定保証	サブスクリプションサービス契約が未購入の場合はこの保証期間中、ベンダーから製品の更新と制限付きサポートが提供されます。保証期間は購入と同時に開始され、90 日間、製品の更新とサポートを利用できます。すべての購入が基本保証期間の対象となります。
緊急時のライセンス	緊急時のライセンスは 1 回だけ使用できる固有のソフトウェアライセンスであり、ホストマシンでエラーが発生した場合に使用できます。
有効期限	製品のライセンス満了日です。ライセンスの権利が期限切れにならないのは、永続ライセンスです。緊急時または試用のために生成されたライセンスでは、このフィールドに有効期限が含まれている場合があります。
ハードウェアキー	<p>ハードウェアキーライセンスは、物理ハードウェアキーと対応するハードウェアキー証明書の両方で構成されます。ユーザーはライセンスユーティリティを介してハードウェアキー証明書をホストマシンにインポートし、フルタイムでの使用向けにハードウェアキーライセンスを認証します。</p> <p>● 注記: ユーザーが Microsoft リモートデスクトップ (ターミナルサービス) を使用する必要がある場合、ハードウェアキーライセンスはお勧めしません。このようなテクノロジーが必要な場合は、ソフトウェアライセンスを使用してください。</p>
ハードウェアキー 証明書	ベンダー生成のデジタル署名付きファイルで、対応するハードウェアキーがホストマシンに接続されている限り、一連の製品を認証します。
ホストマシン	フルタイム利用のためにソフトウェアライセンスとハードウェアライセンスが供与される物理コンピュータ。
ライセンスタイプ	特定の製品に対するライセンス認証方法の主な分類。ライセンス認証方法にはソフトウェアライセンスまたはハードウェアライセンスがあります。
ライセンスユーティリティ	ソフトウェアライセンスとハードウェアライセンスを表示および管理するためのツール。
製品	特定のソフトウェアライセンスまたはハードウェアライセンスで認証された機能。
要求ファイル	ホストマシンのライセンスユーティリティによって生成されるファイルで、ライセンス認証および転送プロセスで使用されます。要求ファイルは、指定された製品のライセンス認証応

用語	定義
	答ファイルを生成するためにベンダーに送信されます。
応答ファイル	ライセンス認証および転送プロセスで使用されるファイルで、ベンダーのライセンス Web サイトを介して、ライセンス認証を許可するために生成されます。
ソフトウェアライセンス	ソフトウェアライセンスはセキュリティ保護されたファイルで、製品のライセンスを認証します。ホストマシンのハードドライブ上にあります。
サブスクリプションサービス契約	ベンダーから購入される契約で、基本保証期間を過ぎた後の製品の更新とサポートを提供します。この契約を結んだユーザーは、包括的な製品の更新と機能強化を使用できます。また、ライセンス供与された製品に対するテクニカルサポートが延長されます。
サポート終了日	それ以降はベンダーから製品の更新とサポートが利用できなくなる日付。サポート終了日は月単位であり、残りの基本保証期間に追加されます。3カ月の初期製品ライセンスを購入し、12カ月のサポートを追加すると、製品の更新とサポートを利用できる期間が15カ月になります。
転送プロセス	ライセンス認証プロセスを介して製品に正しくライセンスが供与された後、ユーザーは新しいホストマシンにこのライセンスを転送できます。転送するには、ライセンスユーティリティの転送メカニズムを使用して、Web ベースのベンダーライセンスポータルにライセンスを返却します。その後、新しいホストマシンでライセンス認証プロセスを開始します。

索引

A

activation_request.txt 9

F

Flex ID 5

R

response.txt 9

S

Snapshot 19

T

transfer_request.txt 13

あ

アンカー 19

い

インストール先 8-9

インターネット 8

お

オンライン転送 12

こ

コマンドラインのライセンス取得 16

さ

サブスクリプションサービス契約 22

サポートとメンテナンス 15

サポート終了日 5, 22

サマリー 5

す

ステータス 5

そ

ソフトウェアライセンス 15

た

タイプ 5

て

テクニカルサポート 19

と

トラブルシューティング 19

は

バージョン 6.0 15

ハードウェアキー 21

ハードウェアキーライセンスの転送 13

ハードウェアキー証明書 10

ハードウェアライセンスの認証 10
ハードウェア証明書 15
バインド 19
パスワード 8, 12

ふ

ファイルをインポート 11
ファイルをエクスポート 14

へ

ヘルプの目次 3

ほ

ホストマシン 14, 21

ゆ

ユーザー名 8, 12

ら

ライセンスのアップグレード 15
ライセンスのオフライン転送 12
ライセンスのオフライン認証 9
ライセンスのオンライン転送 11
ライセンスのオンライン認証 7
ライセンスの転送 11
ライセンスの表示 5
ライセンスリスト 12
ライセンス転送の制限 14
ライセンス認証 6
ライセンス認証 ID 21
ライセンス認証プロセス 21

り

リクエスト 21

漢字

応答 22

可能な場合はオンライン 6

回復手順 20

階層 6

概要 4

巻き戻し 19

期限切れ 5

期限付きモード 14

緊急時のライセンス 19

緊急時ライセンス認証 ID 19

限定保証 21

更新 6, 15

時計の巻き戻し 19

修復 6

証明書 5, 21

信頼済み 19

製品 5

転送 6

転送プロセス 22

破損 5

無効 5

有効期限 6, 21

用語集 21

良好 5